

# DON及びNIVの食品健康影響評価の考え方(案)

DON

NIV

実験動物

一般毒性

摂餌量及び体重増加量の減少  
胸腺、脾臓等への影響  
血液学的パラメーターの変化

摂餌量及び体重増加量の減少  
肝重量の減少  
赤血球・白血球数の減少

生殖毒性

催奇形性(マウス)

胚毒性  
(催奇形性はなし?)

免疫毒性

宿主抵抗性、抗体応答の抑制  
IgA腎症(マウス)

リンパ球の増殖、抗体応答の抑制  
IgA腎症(マウス)

遺伝毒性  
発がん性

突然変異(陰性)  
染色体異常(陽性、不明確)

既存データからは適切に評価できない

マウス2年間発がん試験(陰性)

データなし?

IARC(1993)ではグループ3(ヒトに対する発がん性に関して分類できない)

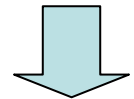
ヒト

急性中毒症がアジアで発生しているが、定量的なデータは乏しい。

ヒトへの影響に関するデータはない

安全性に係る知見

動物実験の結果などを基に、DON、NIVそれぞれについて、TDIを設定  
(グループTDIの設定?)



汚染実態、暴露量の推計結果など踏まえ、人へのリスクについて推定